

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立伊勢原小学校
-----	-------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
A問題	<p>【国語】 書く能力の「目的や意図に応じて、書く事柄を整理する」と、読む能力の「目的に応じて、図と表とを関連付けて読む」の問いは正答率が高かった。</p> <p>【算数】 整数について、大小関係を問う問題や計算問題は正答率が高かった。</p>	<p>【国語】 漢字の読み書き、ローマ字の読み書きに課題がある。</p> <p>【算数】 小数が関係した問題の正答率が低かった。これは小数の意味と表し方についての理解に課題があると考えられる。また、三角形では底辺と高さの関係について理解が十分とはいえず、課題がある。</p>
B問題	<p>【国語】 提示された紹介文章から、目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読んだり、本や文章を比べて効果的な読み方を工夫したりする問題は、正答率が高かった。</p> <p>【算数】 面積調べを通して、問題場面に示された条件を基にほかの図形についても同じ決まりが成り立つかを問う問題の正答率が高かった。また、正方形に内接する円の半径についての問題も正答率が高かった。</p>	<p>【国語】 インタビューメモを基に、話し手の意図を捉えながら話の展開に沿って質問を考える問題では、話し手の発言・聞き手の意図を受けて、質問内容をどのように考えるかに課題がある。</p> <p>【算数】 三角定規を使ってつくられた図形について、その形ができる理由を図形の構成要素(角の大きさ)を基に説明する問題では、論理的に説明することに課題がある。</p>
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で友だちに会うことが楽しいとしている児童が多く、友だちとの約束を守っている児童も多い。</li> <li>・自尊感情が高く、みんなで何かを協力して成し遂げた達成感を味わっている児童が多い。</li> <li>・テレビやインターネットでニュースを見る児童が多い。</li> <li>・学校の様子を家の人に話している児童が多い。</li> <li>・道徳では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると答えた児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活を送っている児童が多いが、寝る時刻が遅い傾向の児童もいる。</li> <li>・宿題はきちんと取り組んでいるが、自主的な家庭学習に計画を立てて取り組む児童が少ない。</li> <li>・読書が好きという児童は多いが、読書量はやや少なく、新聞を読む児童は少ない。</li> <li>・話し合い活動において、自分の意見を発表することに消極的な傾向がある。</li> </ul>

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>◎授業の始めに児童と本時のめあてを共有し、授業の終わりには本時の学習のポイントを振り返り、ノートに書かせる。</p> <p>◎発問や指示を厳選し、児童が考えたり書いたりする時間を確保し、友だちと相談して考えを深める機会を設ける。</p> <p>【国語】 ○言語活動の充実 言語活動の基盤となる語彙の拡大を図るために、単に繰り返し読み書きの練習をするだけでなく、語句の持つ意味を考え、様々な場面で実際に活用するよう指導していきたい。また、辞書を利用する習慣を身に付けさせ、いつでも利用できる環境づくりにも努めたい。他教科でも自分の考えを伝えたり、事象の説明をしたりする活動等を計画的に取り入れたい。</p> <p>【算数】 ○学年間の指導内容の系統性を踏まえ、発達や学年の段階に応じた反復指導の充実 数量や図形の基礎的・基本的内容の理解を図るために、算数的活動を一層充実させ児童が実感をもって内容を捉えられるように指導したい。そして、繰り返し問題を解く過程を通して確実な定着を図りたい。更に、身につけた基礎・基本を基に段階的且つ計画的に実際の問題を解く過程で必要な文言等を具体的に使用し、論理的思考力を身に付けさせたい。</p>
--

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<p>・日頃より、児童の規則正しい生活のリズムづくりにご協力をいただきたいへん感謝しております。学年が上がると睡眠時間が少なくなる傾向にあります。成長期の児童は、睡眠を十分に取ることにより、日々の活動がより充実したものになりますので、テレビ・DVD等を視聴する時間やゲームをする時間を短縮すること、睡眠時間を確保することへのご配慮をお願いします。</p> <p>・学校では、児童に毎日自主的・継続的に学習をする習慣を身に付けさせたいと考えています。本校の多くの児童は、宿題にきちんと取り組んでいます。ご家庭のご協力ありがとうございます。「10分×学年」の時間を目安に、予習・復習など自主的な学習や読書等も含め、今後とも継続的に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>・読書は、児童の心を豊かにするとともに、語彙を増やし読解力を高め、各教科の学習を理解する基盤にもなります。学校でも図書室を計画的に利用し児童に読書の楽しさを伝えていきたいと考えています。ご家庭におきましても、日常的に読書に親しむ時間を設けていただきたいと思います。</p>
--